

2023年度前期		知の市場(シラバス)						継続新規			
科目No.	関連講座GR578c	科目名	持続可能な日本への制度論(3)				副題	日本の経済成長の停滞と社会保障制度の係わりを検証しそのあり方を考察する			
連携機関名	社会技術革新学会	水準	基礎	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	第4水曜日21:00~23:00	拠点 (開講機関)	リモート・横浜南 (知の市場)
科目概要(300字)	1990年代初めのバブル崩壊から現在まで、日本の経済成長は停滞しており、「失われた30年」などと言われている。更にコロナ禍によりその深刻度は一層高まっている。この停滞の原因は何処にあるのか、脱却のための鍵は何かを、日本の雇用や労働に係る制度から考察する。また、セーフティネットとしての社会保障制度の現状と課題を整理し、人口減少の日本社会における社会保障のあり方を考察する。引き続き後期には、財政や資本主義経済の現状を検証しつつ制度面から課題の解決策を考察し、持続可能で豊かな社会の実現に向けた方策を考察する。										
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)				講義日	開講場所	講師	講師	所属
日本経済 「失われた30年」	1	日本経済の現状と課題	1990年代初めのバブル崩壊から現在まで、日本の経済成長は停滞しており、賃金も停滞している。諸外国との比較を通して、その理由や課題について抽出・整理し、停滞からの脱却の方策を考察する。				2023/4/26	Zoomを 活用して リモート 開催。	勾坂行男	勾坂行男	社会技術革新学会 会員
	2		日本経済は巨額な公的債務を抱えており、公的債務残高対GDP比は先進国中最悪である。完全失業率は諸外国に比較し低く、企業業績は回復基調で利益剰余金が増加している。しかし、労度分配率は低下している。財政状況及び労働経済状況についてその課題を抽出・整理し、賃金上昇の方策を考察する。				2023/5/24				
日本型雇用と労働制 度	3	日本型雇用慣行の現状と課題	日本では「ジョブ型」の雇用制度の導入が進められているが、言葉だけが先行し日本では簡単には定着しないのではないか。戦後における日本型雇用慣行の歴史やその特徴を整理し、「ジョブ型」雇用制度への移行のための課題を整理し、日本型雇用制度のあり方を考察する。				2023/6/28				
	4	日本の労働制度の現状と課題	日本の雇用保険制度や最低賃金制度などの現状及び生活保護制度との関連を概観し、それらがセーフティネットとして十分な機能を果たしていないことを理解するとともに課題を整理し、労働のセーフティネットのあるべき姿を考察する。				2023/7/26				
日本の社会保障制度	5	日本の貧困と格差の現状と課題	日本の相対的貧困率は、G7諸国の中で2番目に高い。また、格差を示すジニ係数もOECD国際比較の先進諸国中格差の大きいグループに属する。嘗ての一億総中流ではなくなっている日本の現状と課題を整理し、貧困と所得格差解消の対応策を考察する。				2023/8/23				
	6	日本の社会保障制度の現状と課題	人間的平等の前提として、「ヒトの安全保障」である生存権が保障され、且つ「生活の安全保障」である自由権と平等な機会が保障されることが必要で、その上に「機能価値」を発揮するための「経済の安全保障」がある。社会保障制度は、これらを繋ぐ機能との観点で、日本の社会保障制度の現状を整理し課題をまとめる。				2023/9/27				